

挑戦！まつだマイスター検定

町を元気にする 地域力!

地域力向上促進事業助成金活用団体の紹介

六夜会では、まつだ観光まつりのメインイベントの1つである、伝統行事「百八ッ火」を行っています。

今年度は、まつだ観光まつりが中止となりましたが、本助成金を活用して8月22日に百八ッ火を行い、松明の明かりで新型コロナウイルス終息祈願と医療従事者へのエールを送りました。また、百八ッ火のほか松明灯火台の美化清掃を中心に、冬季は雑木の伐採、夏季には雑草の草刈りなどに汗を流しています。



新型コロナウイルス終息後のまつだ観光まつりでは、松田山を彩る六夜の松明に改めて注目してみたいはいかがでしょうか。

町では地域力向上促進事業助成金の申請を受付中です

- ①地域資源活用事業 ②ふるさと活性化事業 ③コミュニティ活性化事業 ④地域人材育成事業 ⑤その他(①~④以外で地域力が向上すると認める事業)

※新規・既存の団体、共に申請可能です

該当する事業には、事業費の2分の1以内の費用(上限5万円)を町が助成します。1年度につき、2万円以上の事業費が対象となります。該当事業などの詳細は町公式サイトをご確認いただくか、お問い合わせください。

問 政策推進課 経営戦略係 ☎(83)1222



- 明治13年(1880年)に延命寺・観音前に開設された施設は何でしょうか。(答えは4面) ①松田町役場 ②松田町図書館 ③松田郵便局 ④松田診療所

火災に備える 日ごろのポイント

安全防災担当室だより

問 安全防災担当室 防災防犯係 ☎(84)5540

空気が乾燥し火災が発生しやすくなる時期を迎えるにあたり、火の用心のポイントをおさえましょう。

また、11月9日から15日まで秋季火災予防運動が実施されますので、この機会に消火器や住宅用火災警報器の設置、点検を行いましょう。

※町内の取り扱い業者などについては別途全戸配布しますので、参照のうえお問い合わせください

Table with 2 columns: Point Number and Description. Points include fire prevention measures like 'No open flames', 'No smoking in bed', 'Check stoves', and 'Keep wiring neat'.



10月27日~11月9日は 読書週間

全てのの人に、本に親しむきっかけを作ってもらうことを目的に、文化の日を中心に、2週間の読書週間が設けられています。

町では、毎月第1日曜日を「家読(うちどく)の日」としています。「家読(うちどく)」は、「家庭読書」の略語で「家族ふれあい読書」を意味し、「家族みんなで読書をする」ことで家族のコミュニケーションを深めることを目的にした読書運動です。

11月図書館展示「猫のおはなし」

問 教育課 生涯学習係 ☎(83)7021



ドライブレコーダー 設置促進事業補助金

安全運転意識の向上と犯罪抑止のため、自動車にドライブレコーダーを設置された町民の方へ補助金を交付します(諸条件あり)。詳細は町公式サイトに掲載していますので、ご利用ください。

補助金額 購入金額の3分の1 ※限度額5千円/台

対象者 次の要件をすべて満たす方が対象

- ①松田町に住所を有し、かつ、取り付けた自動車の自動車検査証などの所有者に記載された方 ②町税などを滞納していない方 ③交通事故や防犯に関する警察の捜査に対し、記録データの提供や自身の連絡先を提供できる方

問 安全防災担当室 防災防犯係 ☎(84)5540

鼓動(ゴドウ)

松田町長 本山博幸

「夢へのトビラを開くのは？」

令和2年も残すところ2か月、秋も深まり、段々と日が短くなりました。先月、本町にてコロナ患者が判明しましたが、感染の拡大もなく、町民の皆さまはお健やかに過ごしていることと存じます。

新型コロナウイルスが我々の生活や経済活動などに多大な影響を与え、今なおコロナとの共存を強いられる中、「新しい日常や生活スタイル」の確立を模索し、今日に至っていることと存じます。

松田町においては、今後もコロナ禍が続いても「積年の夢」を叶えるための意欲や努力を失ってはならないと思っています。どんな困難があろうとも、乗り越えてこそ「夢の実現」への価値が上がると信じています。

その「夢へのトビラ」を開けるのは、間違いなく町民の皆さまの「想いと行動」です。

協働のまちづくりにおいて、一緒に「夢へのトビラ」を開くよう取り組んで参りたいと考えておりますが、その「トビラ」は簡単には開きません。「トビラ」は「選択と集中」という「ガギ」が無くては開きません。

そして、「選択と集中」という「ガギ」は、町民皆さまの想いが「力」となり、町民と行政とが一体となって協働のまちづくりによる「汗と努力」で創られる「ガギ」です。

その「ガギ」を創るには、旧態依然の考えや手法では絶対に成しえないので、「変化を恐れない覚悟」が必要です。コロナ禍の対応をしつつ「夢へのトビラ」を開けることは並大抵のことではありませんが、これまで努力してきた「積年の夢」への想いから比べると、必ずや超えることが出来ると信じています。

引き続き一つ一つ丁寧に課題解決を行い、皆さまとともに「夢へのトビラ」を開けるよう「協働のまちづくり」に取り組んで参りますので、ご理解・ご協力を何卒宜しくお願いいたします。